

シミュレーションによる光化学オキシダント対策の方向性の検討について
(これまでの対策が現状の光化学オキシダント濃度に及ぼした影響の検討)

1 検討内容

シミュレーションによる解析によって、国内の光化学オキシダント濃度に対する越境汚染の影響、東アジア大陸および国内の大気汚染物質排出量の寄与の大きさ、NO_x タイトレーション効果の低下の影響および前駆物質排出量の減少による影響について明らかになることが期待される。

これらの解析結果の他にも、平成 25 年度光化学オキシダント調査検討会で得られた知見やこれまでに実施された発生源対策(表 1-1)を考慮し、これまでの対策が現状の光化学オキシダント濃度に及ぼした影響を解析し、今後の対策の方向性について検討する。

表 1-1 前駆物質の濃度に影響する主な対策の開始年度

規制等			2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
自動車	自動車 NO _x ・PM 法	車種規制(8 自治体)											
		単 体 規 制	ガソリン 車	新短期規制									
	新長期規制												
	ポスト新長期規制												
	ディーゼル 車	長期規制											
		新短期規制											
		新長期規制											
			ポスト新長期規制										
			オフロード特殊車規制										
			VOC 規制(大気汚染防止法)										
		PRTR 届出制度(PRTR 法)											

1. 車種規制(8 自治体)は、2002 年 10 月より施行された。
2. ガソリン車の単体規制は、新短期規制(2000、2001、2002 年規制)、新長期規制(2005 年規制、軽自動車のみ 2007 年)、ポスト新長期規制(2009 年規制)が実施されている。
3. ディーゼル車の単体規制は、新短期規制(2002、2003、2004 年規制)、新長期規制(2005 年規制)、ポスト新長期規制(2009 年規制)が実施されている。
4. オフロード特殊自動車は、2007、2008 年度から排ガス規制が行われた。
5. 大気汚染防止法の改正により 2006 年 4 月より特定規模の施設については VOC の排出規制が行われ、特定規模に満たない施設等についても自主的努力が必要となった。
6. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR 法)に基づき、2001 年度から対象化学物質の環境中への排出量等の把握が開始された。(届出は 2002 年度(平成 2001 年度実績)から実施された。
7. 固定発生源の NO_x 対策としては、大気汚染防止法で、ばい煙発生施設の種類及び規模ごとに排出規制がなされており、1973 年以降、逐次、排出基準の強化・規制対象の追加等の見直しが行われている。
8. 「■」は対策が開始された年度。